

●紫雲の郷の値上げについて

Q.

紫雲の郷の入館料が先日値上げされました。日頃からよく利用させてもらっている私めにとっては痛い出費ではありますが、このご時世、仕方ないのかなと思います。値上げ前に回数券などをある程度購入して、とりあえずはしのいでいます。しかし、立て続けにドライヤーの有料化です。ある程度の期間をおいてならまだわかるのですが、1か月も開けずにです。それも100円。多い人は一度に300円程度上がることとなります。ドライヤーの使用料で100円というのもあまり聞きません。せいぜい2,30円程度が相場かと思います。この件で、「今後、この施設の利用を控える」と思っている人が、私の周りにはかなりいます。利用者は確実に減るでしょう。より多くの方から利用してもらって収入を上げていくのがサービス業の本分であるとお考えになるのであれば、あまりにも理不尽な今回の手段・タイミングと受け取らずにはいられません。もし考え方が根本から異なるのであれば、諦めるしかありませんが。ドライヤーの値上げについては、是非、再考願いたいです。ちなみに、この施設の役員の方は、開業時からほぼ毎日ずっと無料で利用していることはご存じですか。計算すると軽く400万円は超えていることとなります。皆さん「おかしいよね・・・」と言っています。この件についても再考が必要なのではないでしょうか。より多くの方が同じ条件下で、楽しく利用し合うのがこういった施設の理想の形のように私は思います。大好きな施設故に、このまま利用者が減っていくのはあまりにも寂しいです。よろしく願います。

(令和5年10月受付)

A.

紫雲の郷館は、(株)紫雲寺記念館が市から指定管理を受け、運営を行っているものであります。

入館料の値上げにつきましては、指定管理者との協議を踏まえて、昨今の燃油高騰の影響により、令和4年度光熱費が高騰前の令和3年度と比べ、ガス料金は1.65倍の増、電気料金は1.46倍に増加したことにより、施設全体の光熱費用が約1,400万円増加するなど、これまでの入館料では経営が厳しい状況であることから、10月1日から実施させていただきました。

施設をご利用いただいている皆様には、新たなご負担をおかけすることとなり、市といたしましても大変申し訳なく思っております。今回の値上げについては、何卒、ご理解をいただきたくとともに、指定管理者に対しましては、今回の値上げを機に、これまで以上にサービスの向上に努めるようお伝えさせていただきました。

ドライヤーにつきましては、受益者負担の観点から有料とさせていただいたものであり、指定管理者の自主事業として行われております。このたび設置されました有料ドライヤーは、他の施設よりも割高ではありますが、短時間で乾かすことができるなどのメリットもあり、以前から課題でありました、無制限に使える状態で発生してしまう順番待ちの時間が解消されるとともに、これまで原則禁止としていた持参ドライヤーの利用を可能とさせていただきました。

他方、役員の無料入浴につきましては、指定管理者に聞き取りを行ったところ、開設当初から直接利用者の生の声を聞き、施設運営の向上に役立てるために、役員に温泉利用をお願いした経緯があり、現在まで続いているとのことでした。

市といたしましては、施設利用者に対して誤解を招く行為であり、一般利用者と同様に扱うよ

う指定管理者に依頼させていただいたところ、指定管理者からは今後廃止するとの回答をいただいたところであります。

ご意見をいただいた内容につきまして、改めてご理解をいただくとともに、今後も末永く施設をご利用していただけるよう、指定管理者はじめ、市といたしましても利用者目線に立った施設運営に努めてまいります。

(令和5年10月27日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。